



大学による地方創生人材 教育プログラム構築事業

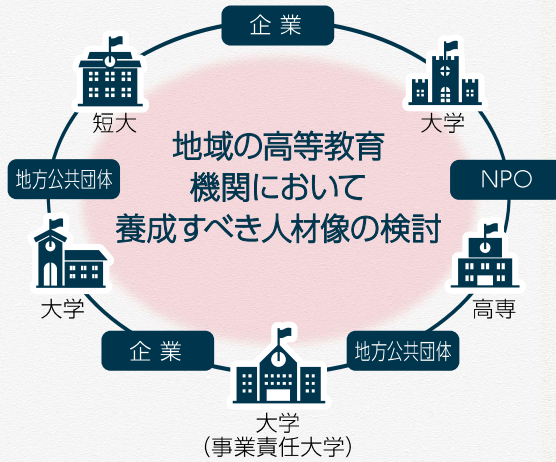
背景・課題

- 地方創生に向けて、地域にある高等教育機関が核となり、その地域の経済圏における教育と職業、教育と新たな産業を結びつけていく活動が不可欠となっています。
- 人生100年時代においては、高等教育機関には多様な年齢層の多様なニーズを持った学生を教育できる体制が必要となるため、いわゆる就職氷河期世代も含めた様々な社会人に対しても、受けやすく即効性のある出口一体型人材養成の確立が求められます。

事業概要

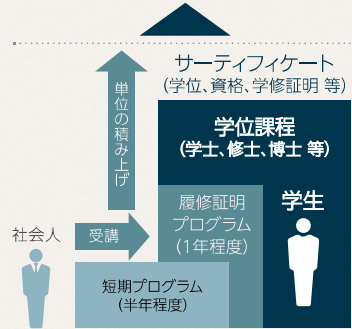
- 地域の知的拠点としての大学が、他の大学等や地方公共団体、地域の企業等と協働し、地域が求める人材を養成するための教育改革を実施するとともに、出口(就職先)と一体となった教育プログラムを実施することで、学卒者の地元定着と地域活性化を推進します。

事業体制



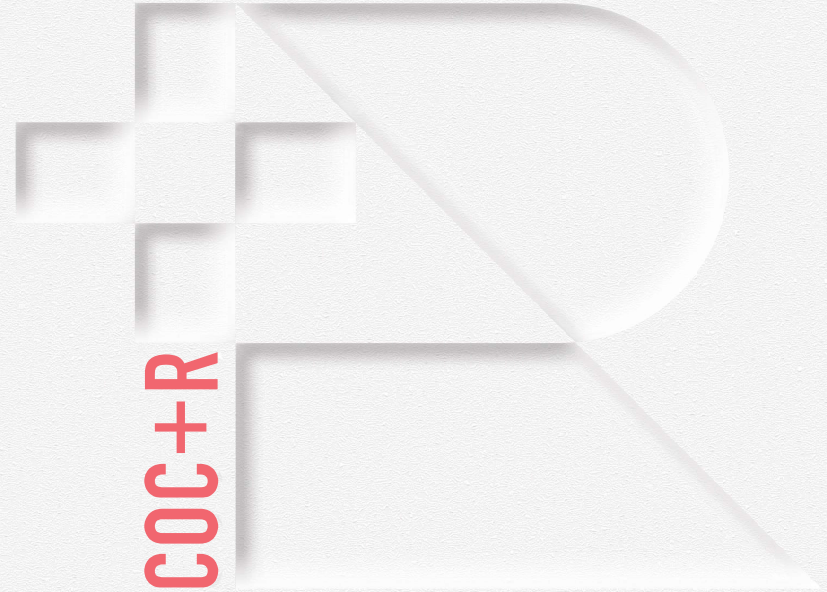
出口 学生や社会人の地元就職

成果 地域に求められている人材教育機関としての大学の機能強化、地域活性化



[取組]

- 大学群、地方公共団体、企業等が連携・協働し、当該地域が養成すべき(産業)人材像の分析・検討
- 分析・検討結果に基づき、当該(産業)人材を養成するための指標を作成
- 指標に基づき、大学における学修と出口(就職先)が一体となった教育プログラムの構築・実施



大学による地方創生人材 教育プログラム構築事業



大学による地方創生人材
教育プログラム構築事業
Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization
through New Human Resources Education Programs



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY•JAPAN

問い合わせ (幹事校事務局)

信州大学 キャリア教育・サポートセンター

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 Email: info@coc-r.jp Web: https://coc-r.jp/



選定4大学の事業説明

地域基幹産業を再定義・革新する 人材創出プログラム 「ENGINE」

(事業責任大学)



(参加校) 富山大学
金沢大学



● 事業目的

人口減少やポストCOVID-19を見据え、地域とともに「移動・交流・体験」価値の再定義に向けた学びの環境を構築し、観光や生活の基盤となる新しいモビリティや施設活用、食や健康産業の未来を拓く人材を育成・輩出する。

● 育成する人材像

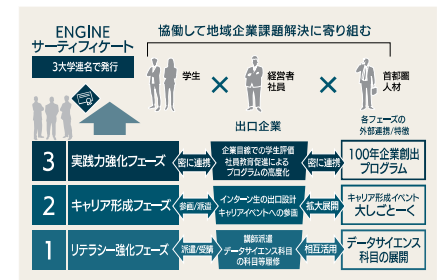
次代の地方創生の「交通」×「食」×「観光」×「インフラ活用(IT技術を含む)」を基幹となる産業として注目し、専門的な学術的知見を獲得すると同時に、「ハート&データ・ドリブン」な志向を身に付け、実践経験を通じて、変化への対応力・突破力をもったトップ・リーダー人材を育成する。

● プログラムの特徴

信州大学・富山大学・金沢大学を中心に3県域に渡る産学官連携プラットフォーム「門陣」を構築し、実践的なサーティフィケーション・プログラムを構築する。プログラムは、各大学の特徴をつくりながらも、相互に教育資源を活用し、

1. リテラシー強化フェーズ：問題分析力を養うデータサイエンスやトップリーダーからインベーション・マインドを学ぶ
2. キャリア形成フェーズ：鉄道や高速道路・地域施設・観光などのリアルな現場とオンラインを融合して、様々なジョブの現状と未来を考える
3. 実践力強化フェーズ：挑戦的な事業に取り組む地域企業でのPBL型インターンシップを行う

の3ステージを複数年かけて学習し、地域と大学の学び・人材の好循環を創出する。



VUCA時代の成長戦略を支える 実践的教育プログラム

(事業責任大学)



(参加校) 山梨大学
山梨英和大学



● 事業目的

学生の能力開発、進路相談、実践活動、資格取得といったキャリアに関わる教育プログラムを学部主導の学士課程教育とは別に設計し、地方創生人材育成のため、大学・企業・自治体・関係団体で協働的に実践教育を行うシステムを構築する。

● 育成する人材像

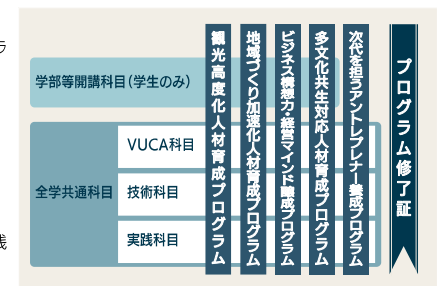
[VUCA(Volatility(変動性)・不安定さ), Uncertainty(不確実性)・不確定さ), Complexity(複雑性), Ambiguity(曖昧性)・不明確さ)時代を自在に越境する術]の習得により、受講生自身が今後のキャリア形成において、社内起業・新企画開発などが行える高付加価値人材となることを目指す。

● プログラムの特徴

学生・社会人の垣根を越えた学修の場を構築し、5つの実践的教育プログラムを実施する。

1. 観光高度化人材育成プログラム
2. 地域づくり加速化人材育成プログラム
3. ビジネス構想力・経営マインド醸成プログラム
4. 多文化共生対応人材育成プログラム
5. 次代を担うアントレプレナー養成プログラム

各プログラムのVUCA科目、学部等開講科目(学生のみ)、技能科目、実践科目より所定の単位数を修得すると修了証が授与されます。



「吉備の杜」創造戦略プロジェクト -雑草型人材育成を目指して-

(事業責任大学)



(参加校) ノートルダム清心女子大学
中国学園大学
(協力校) 岡山理科大学
愛媛大学工学部



● 事業目的

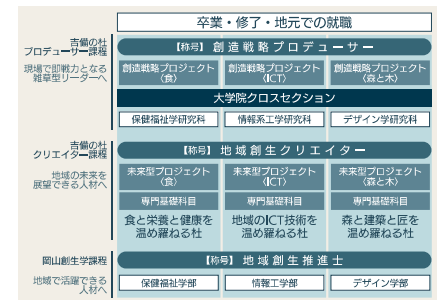
岡山県の総合計画である「新晴れの国おかやま生き生きプラン」[「おかやま創生総合戦略」]に基づき、「県内産業発展に寄与できる人材」を出口(就職先 企業)と一体になって育成するプログラムを構築する。

● 育成する人材像

「予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において、多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有した雑草型リーダー」を目指して、「高い専門性と幅広い人間力に立脚した地方創生を担う逞しい人材」の育成を目指す。

● プログラムの特徴

学部1-3年次に受講する「岡山創生学課程」(COC+)を基盤とし、本プログラムは、学部3年次生から大学院生及び社会人を対象とする。大学院では、分野横断型で「大学院横断型共通基盤科目(大学院クロスセクション)」を設け、社会変動に応える複眼的視野と実践知の世界を大学・地域・企業の共同体で学ぶ。併せて、関係大学、自治体や産業界との協議に基づき創られた新たな産業人材像を求めて「森と建築と匠を温め羅(つら)ねる杜(もり)」[地域のICT技術を温め羅ねる杜]「食と栄養と健康を温め羅ねる杜」の3つのサテライトプログラムを開設する。本プログラムは事業協働機関の企業の若手社員、学生、教員らから構成され、企業が直面する課題や共同研究をテーマに実践型PBL演習を実施する。



とくしま創生人材 企業共創プログラム

(事業責任大学)



(参加校) 四国大学
四国大学短期大学部
徳島文理大学
徳島工業短期大学
阿南工業高等専門学校



● 事業目的

地元企業と連携し、地域を担う質の高い人材を大学が企業等と協働して育成することで、県内企業等の魅力・経営の向上と県内への人材定着の促進という好循環を創出する。

● 育成する人材像

COC+において定めた成長が期待される4つの産業分野(次世代技術、地域医療・福祉、6次産業化、地域づくり・観光)を柱とし、従来の専門的な知識・技能に加え、今回の事業では業種横断的に活躍できる3つの汎用的能力の育成(情報処理、マネジメント、デザイン・コミュニケーション)を目指す。

● プログラムの特徴

「情報処理」「マネジメント」「デザイン・コミュニケーション」の基礎力育成科目とライフデザイン科目を構成し、企業等の経営理念を伝える対話型授業と短期訪問実習(エクスターンシップ)とPBL型インターンシップを組み合せ、学習履歴を認証する地域クリエイターズ・マイレージポイント制度を導入する。

さらに参加校学生、リカレント生の履修のため遠隔参加型システムの開発、キャリア情報データベースのAI分析による学生と企業のサポートシステムを開発・導入する。

